# 社協だより

第147号
2010.7.1
点字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0034 直方市山部字間谷616-145
TEL 0949(23)2551 FAX 0949(23)2552
e-mail : nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp HP : http://www.nogatashakyo.org/

## 「福祉は人」
## 「支え合いマップ」で見えるご近所の真実とは？

もくじ

●「支え合いマップ」とは？ 2
●平成22年度事業計画と予算 3
●地域の輪（青年学級・子育てネットワーク「すくすく」）図書室 4
●登録ヘルパー募集、ご寄付 5
●よこいと運動会、おもちゃ図書館のおがた 投稿募集 6

### カンテラ
### ご近所の世話焼きさん

近隣関係が薄れたとはいえ、近所におすそ分けをしながら、自然と見守りを行う世話焼きさんが存在する。

一人暮らし高齢者の家に、朝・夕と声をかけ、話題を広げ、情報を収集し、花や庭の手入れ、ついでに表の道掃除まで。

体調不良の時には、身内に電話連絡。毎日の散歩では、コースを変えながら、見守りも。

毎朝自宅前で通学する子どもたちには、明るく元気な声と笑顔で挨拶。

顔の見える人と人との関係が、まさに、一人の世話焼きさんから生まれる「ご近所の福祉」だと感じることが出来る。

「小さな親切、大きなお世話」とも言われがちな、おせっかいなおばさんだが、自分に出来るボランティア活動の一歩だと思う。

その一歩を広げていく努力が、今の地域には必要ではないだろうか。（T・Z）

---

見えてきた地域の実態

# 困り事を解決し合える地域づくりへ

## ～支え合いマップから学ぶ地域の助け合い起こしの方法～

### 支え合いマップとは？

支え合いマップ（以下、マップ）とは、小地域（50～100世帯）毎にその地域内での住民同士が、どのように触れ合い、助け合っているのか、住民が抱えている生活課題は何か、どのような解決行動をとっているのかなどを住宅地図に記入する事で、福祉の実態と対応行動の全体をマップ上に浮かび上がらせ、地域の生活課題の解決に向けての取り組みを抽出するものである。

### なぜ地域でマップづくりが必要？

公的福祉が充実してきても、制度では対応しきれない狭間には、様々な問題（孤独死・虐待・災害・徘徊など）が生じている。この狭間を埋めるためには、地域での「助け合い起こし」が必要不可欠となっているためである。

### 実践マップづくりで見えた地域の実態とは。

実践マップづくりを行うT地区の参加者
（直方社協主催　地域福祉セミナー）

直方市T地区約100世帯で実践したマップでは、次のような実態が見えてきた。

①現在要介護状態の人が少ない地域ではあるが、老老夫婦世帯が多く存在し、5年後、10年後には、一人暮らし高齢者が急激に増加する可能性がある。

②地域では、男性の一人暮らしなど気になる人の存在が分かってはいるものの、踏み込んで行く事が出来ない。

### 解決のために必要な取り組みは？

一人暮らし高齢者が急増するであろうT地区では、介護予防の取り組みが緊急の課題である。しかし、触れ合いだけを行う介護予防活動では意味がない。介護予防活動を実践する中で、地域の困り事（課題）を情報交換しながらマップに記入し、解決に向けた取り組みを実践する事が極めて必要である。

また、福祉とは反対の方向性を持つプライバシー保護の壁をいかに地域の中で取り除いていけるかも解決の鍵である。

### マップで見えてきた効果とは？

マップづくりを実施する事は、日常的に見ている世界を上空から見る事が出来、今の地域の課題は何なのかを住民同士が一目で確認出来る。

また、民生委員・児童委員や区長など、肩書きを持つ人以外の住民独自の助け合いの掘り起こしが可能となり、地域では、意外な福祉力を日常的に発揮している事を見て取れる。

この日常的な住民独自の活動を認め合う事が、本当の意味での地域福祉活動の一歩であり、マップが発揮する効果といえる。

---

# 平成22年度 直方市社会福祉協議会 基本方針・重点推進項目と予算

## 基本方針

百年に一度ともいわれる大不況によって、多くの失業者とその家族の生活が窮地に追い込まれ、まさにトンネルの出口が見えないという不安感は、生活資金貸し付け希望者の一人がつぶやいた「こうなってしまったのは、自分が悪いのか、会社が悪いのか、社会が悪いのか、わからない」という言葉が的確に言い表しています。

ところが、このように他人の事を考えている場合じゃないという時であっても、私たちの周りでは、認知症の人が行方不明になり、家族や関係者の必死の努力もむなしく残念な結果になるという事件や事故などが起こってしまいます。

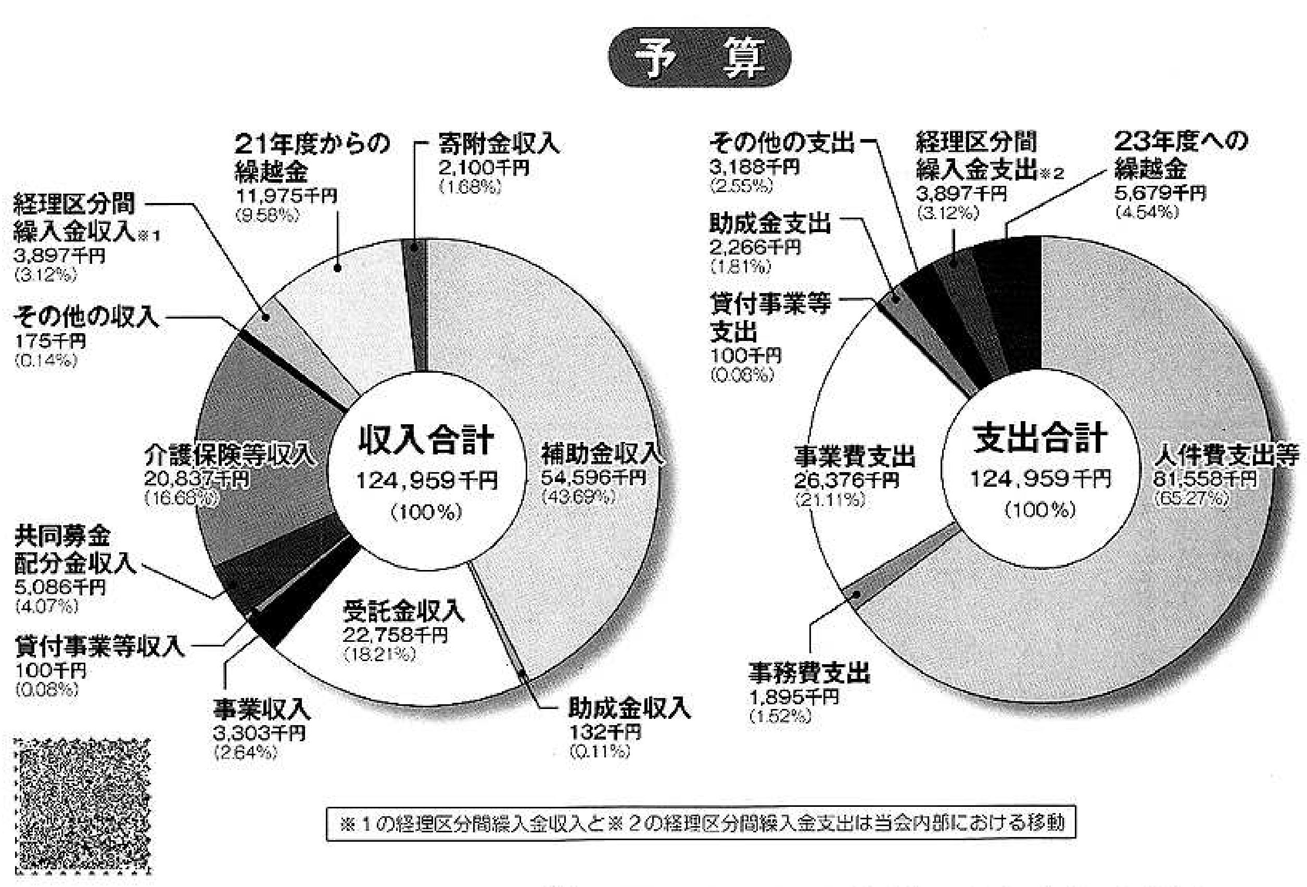
核家族化の進行から始まり、単身世帯の増加や自治区の加入未加入の問題などから、地域で問題を解決する力が弱くなってきたと言われていますが、このように経済的な側面で住民個々の生活基盤が崩れるという事態も、いざという時や、いざという時のために備える地域の力（地域の福祉力）に大きな影響を与えると言えるでしょう。

これらの視点から、本会が優先すべき課題を、衰退しつつある地域の福祉力の向上とし、関係行政機関はもとより校区社協や民生委員児童委員、自治区長をはじめとした地域での役割を担う方々と情報交換を一層密にするとともに、特に役割を担うとされていない人々にも自分が暮らす身近な地域で発生している問題に対する理解とその解決のための協力が得られるように努力していきます。

## 重点推進項目

1 その人に相応しい見守り体制づくり
2 認知症等による徘徊行方不明者探索の仕組みづくり
3 ホームページの運営等による啓発力・情報発信力の強化と理解者・応援者の発掘
4 地域福祉の拠点らしい総合福祉センターの運営
5 介護サービス事業検討特別委員会の設置

## 予算



※1の経理区分間繰入金収入と※2の経理区分間繰入金支出は当会内部における移動

---

# 地域の輪

市内にはさまざまな地域に根ざした独自の福祉活動があります。
そんな皆さんの活動をご紹介するコーナーが地域の輪です。

## ＊自分たちで話し合い、決める＊

青年学級

意見が飛び交う平成22年度総会

青年学級は、1997年に、学校を卒業した知的障害者が、同じ市内に住みながら、なかなか出会う機会が少なく、仕事や生活の悩みを気軽に相談出来る場が少ないとの思いから誕生しました。

会議は、「青年学級」と「話し合う会」の2つを交互に実施しています。

話し合う会では、障害のある当事者が自分たちで計画を立て、レジメを作り、内容を考え、問い合わせや予約もやっています。

また、学習会では、今まで障害者自立支援法やいじめ、差別などの内容を学習し、意見交換を行ってきました。その他に買い物やウォーキング活動なども行います。

13年前からは、ピープルファースト全国大会にも参加しています。ピープルファーストとは、「私たちは、障害者である前に人間です」という意味です。

大会では、厚生労働省の人との意見交換や、デモ行進をしながらアピールを行います。今年は京都府で行われ、来年は福岡県で実施予定です。

皆様、青年学級では一緒に活動してくれる支援者が足りません。

ぜひ一度青年学級に参加して、一緒に活動してみませんか。

## ＊『子育て』を軸につながりあう街づくりを＊

直方子育てネットワーク「すくすく」

「すくすくフェスタ」で活躍する会員

地域の人々や、サークル、団体、企業などが「子育て」を軸につながり合おう！と『直方子育てネットワーク「すくすく」』を発足して4年目になります。

毎年たくさんの方が集まる「のおがた子どもすくすくフェスタ」は、私たち「すくすく」と、地域から募集した実行委員の方々400名ほどのスタッフが心をひとつにして開催しています。

その他、「すくすく」会員や地域の方との情報交換の場「交流会」や企画募集を行い、地域の方々と協働開催している講習会等は、大変人気です。

《2009年度開催》
・ワークショップ
「楽しんでエコしましょう!」
・マザートークさんによるトーク&コンサート
・味噌づくり講座
・自然食料理教室
・おばあちゃんの知恵袋など…

このような楽しい企画が全て受講出来る「すくすく」に是非、ご入会ください！

【年会費】
・個人会員　500円
・団体会員　1000円
・支援会員　5000円

【お問い合わせ】
直方子育てネットワーク
「すくすく」事務局
（直方市地域子育て支援センター内）
（電話）0949(28)9102

図書室

## メイク・ア・ウィッシュの大野さん

メイク・ア・ウィッシュの大野さん

著者 大野 寿子
発行人 横里 隆
発行所 (株)メディアファクトリー

メイク・ア・ウィッシュ活動は、1980年にアメリカ・アリゾナ州に住む白血病と闘っていた7歳の男の子の「お巡りさんになる」という夢を叶えた事をきっかけに、難病のために夢を叶えられない子どもたちの手伝いをしようと設立された。

ジャパン事務局の大野さんは、関わってきた事例を挙げながら、私の仕事は、難病の子どもの夢を叶えるお手伝いと、重い病気と闘いながらも夢を諦めず、懸命に生きている素晴らしさを紹介する事。

病気が治れば勝ち、治らねば負けではなく、今をどのように生きるかが大切だと、子どもたちとの出会いで知ったと述べている。（T・S）

---

## 一緒にヘルパーとして働いてみませんか。

■資格
・ヘルパー2級以上　・普通自動車免許

■賃金（時給）
生活援助
（日中）1000円　（早朝夜間）1200円
身体介護
（日中）1550円　（早朝夜間）1860円
移動支援（ガイドヘルプ）
（日中）1400円

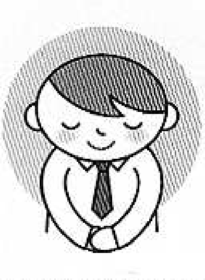
■活動時間
・7時～21時
※勤務時間は相談の上（労災保険あり）

お問い合わせ
直方市社会福祉協議会
ホームヘルプサービス
【担当】香月・秦
【電話】0949(23)2551（平日8時30分～17時）

ホームヘルプサービスの利用を希望の方は、
【電話】
0949
(29)5080
にご連絡ください。

## ご寄付ありがとうございます。

平成22年2月17日～平成22年6月10日
30件　合計金額870,000円
（お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略）



香典返し寄付金

●頓野 大野 積子
●殿町 (故)山本 早吉
●下境 寒竹 シゲ子
●丸山町 大塚 公一
●山部 (故)石丸 千鶴子
●直方 北島 芳隆
●下新入 野口 勝正
●感田 星岡 康夫
●頓野 市吉 清克
●山部 黒岩 利津江
●感田 阿部 美津雄
●溝堀 月成 キミ子
●上頓野 (故)下澤 和枝
下澤 鶴男
●山部 石黒 章友
●植木 (故)林 満江
●下新入 清澤 時男
●古町 境 秀昭
●下新入 大窪 春代
●新町 キミ美容室
安武 みゆき
●下境 西山 豊美
●植木 西村 慶子
●小倉南区 荒巻 憲吾
●山部 後藤 信男
●感田 (故)白上 尚
●頓野 山本 久美子
●下新入 (故)野中 ナツコ
●上新入 (故)小林 良二
●古町 野中 英樹
●中泉 林 宗徳

一般寄付金

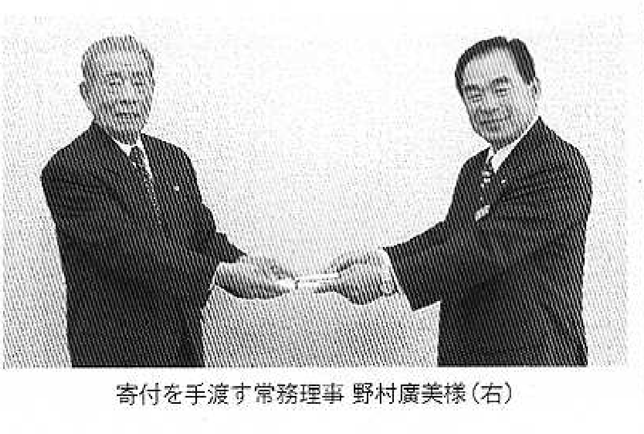
●福岡ひびき信用金庫 イングスクラブ

## 福岡ひびき信用金庫 イングスクラブ 直方市社会福祉協議会に寄付

平成22年3月29日、直方市総合福祉センターにて、福岡ひびき信用金庫 イングスクラブ様より、直方市社会福祉協議会にご寄付をいただきました。

イングスクラブとは、福岡ひびき信用金庫が地域貢献活動やボランティア活動を通じて地域社会の活性化に貢献する事を目的とする組織です。

イングスクラブ皆様のご好意に感謝し、いただいたご寄付は、社会福祉推進のため、大切に使わせていただきます。



寄付を手渡す常務理事 野村廣美様（右）

---

## 今日のお土産に、あなたのハートに横糸を

第35回よこいと運動会開催

パン食い競争に熱戦する参加者

よこいと運動会は、障害のある人も、ない人も、小さな子どもから高齢の方まで、誰もが参加出来る事に意義がある。

競技を一緒に楽しみ、交流することにより、出会い・触れ合い・いたわりあい・助け合って人と人との横の糸が結ばれる事を目的としています。「今日のお土産に、あなたのハートに横糸を一本結んでお帰りいただきたい」という視覚障害者代表・前田鈴子実行委員長の、実に力強い挨拶で開会された「第35回よこいと運動会」は、初夏の暑さむんむんの体育館の中で、全員参加の熱戦が展開された。

パン食い競争、ケーキ早食い、顔中真っ白の飴食い競争に大笑いし、慣れぬ車椅子の操作に苦労する。綱引き、玉入れに大玉送りの総力戦は、お互い相手に負けじと、力が入る。

最後は炭坑節の総踊りとそれぞれが助け合いながらの真剣な競技が続いた楽しい一日だった。（T・S）

## 皆さん遊びに来てね

おもちゃ図書館のおがた

とにかく、やれるところからやってみよう！それが始まりだった。

何もかもが初めて、聞く事、見る事、する事、毎日が試行錯誤の連続、それがまもなく、開館3年目を迎えようとしている。何もない部屋に棚を置き、おもちゃを並べ子どもたちを待つ。

子どもたちは、本当に来てくれるだろうか？不安だった。

利用者は、徐々に増えて、平成21年度は、584名に達した。

おもちゃ図書館で遊ぶ子どもたち

昨年を振り返ってみると、おもちゃ図書館の運営は、考え、作り、直し、整理などスタッフが出来る時に、出来る事をする中で、今日に至っている。

行事では、おたのしみ会の開催、各種団体への参加、協力と多種多様であった。

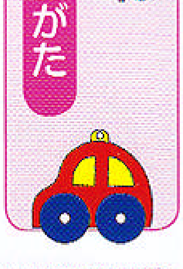
今年度も、子どもたちに楽しんでもらえるように、おたのしみ会を7月頃、芋ほりイベントを10月頃、その他クリスマス会なども予定しております。

おもちゃの部屋も衣替えし、少し広くなりました。

子どもたちの元気な声が、私たちスタッフにも元気を与えてくれます。障害のある子どもはもちろん、一般の子どももぜひ遊びに来てください。

また、お父さん、お母さんたちの触れ合いの場としても活用ください。

気配りとアイデアが自慢のスタッフがお待ちしています。（S・K）



### 皆様からの声をお待ちしています

個人や地域での悩み事・困り事、地域の福祉に関する取り組み、ユニークな活動などの情報がありましたら、ぜひご連絡ください。

お問い合わせ
直方市社会福祉協議会
（電話）
0949(23)2551
（ファックス）
0949(23)2552
（メール）
nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp

### 編集後記

ついに、直方市社会福祉協議会にホームページが完成しました。情報発信や啓発の強化を目的としています。

各種団体、皆様の情報発信用ツールとしても、ぜひ活用してください。アドレスは http://www.nogatashakyo.org/ です。

ぜひ一度ご覧下さい。（M）

介護についてのご相談お受けします。お気軽にどうぞ。　直方市社協ケアプランサービス　（担当）田口　（電話）0949(29)5080